

# CWA NEWS



交流会  
パート  
**1**

## 令和元年度交流会 ~35名の方が参加しました~



参加者全員で記念撮影



阿部運営委員



大澤副会長



板倉監事

6月8日（土）の定期総会後、35名が参加し、交流会が行われました。

阿部運営委員の司会進行の下、初めに大澤副会長から、ウィスコンシン州と姉妹提携が行われてから、来年は30周年を迎えること、当協会の活動に対し役員・会員の皆様からの更なる支援と協力をお願いしたい旨の挨拶がありました。

続いて、乾杯の挨拶に立った板倉監事からは、昨年来葉した友好使節団のフェアウェルパーティーが懐かしく思い出されることなどを述べられた後、“Cheers!”と乾杯の音頭をとり、パーティーが和やかに始まりました。



小川運営委員（派遣・受入事業部会）



大浦部会長（会員等交流事業部会）



宮崎部会長（広報部会）

昼食をはさんで、CWAの各部会からパワーポイントを使っての活動報告がありました。「派遣・受入事業部会」の小川運営委員からは、昨年度のウィスコンシン州友好使節団の文化・芸術グループと教育グループの活動や今年度の派遣計画について報告がありました。「会員等交流事業部会」の大浦運営委員からは、昨年度の会員交流会&離任ALTフェアウェルパーティーや新任ALT歓迎会について、サンクスギビング（感謝祭）がテーマの食文化交流会の様子と今年度の活動計画について報告がありました。最後に「広報部会」の宮崎運営委員から、昨年度から英語版のCWA NEWSを発行し、ホームページに英語版を掲載したことや今年5月に開催された国際フェスタCHIBA2019へ出展した時の様子について報告がありました。

続いて、当日参加した2名のALTと教育庁に勤務しているALTコーディネーターから、パワーポイントを使った自己紹介があり、残念ながら出席できなかった離任する4名のALTからのビデオメッセージが流されました。映像の中で彼らは千葉県で過ごした楽しい思い出と周囲の人たちの親切に心からの感謝の言葉を述べていました。（※詳細は2ページに掲載）

今回の交流会もウィスコンシン州との交流を大切に思う皆様の心をつなぐ楽しい会となり、盛会のうちに終了しました。

交流会  
パート  
**2**

6月8日(土)の交流会では、参加したALTとALTコーディネーターがスライドを使って自己紹介を行いました。また、離任する4名のALTからビデオメッセージが寄せられました。



**Evelyn Ewald** (安房高校、長狭高校)

ウィスコンシン州東部にあるアップルトン市の出身です。現在でもアメリカで最も有名な奇術師で、「脱出王」の異名を取ったハリー・フーディーニ（1926年没）と同郷です。ウィスコンシン大学オシュコシュ校を卒業し、その後東京の成城大学に1年間留学しました。母親の仕事の関係でイギリス南部の小さな町に住んだこともあります、韓国にも一ヶ月留学した経験があります。3回の海外経験を積んで、昨年千葉県のALTとして赴任しました。



**Tina Brown** (松尾高校)

5年前にテレビゲームの仕事をしている夫と結婚後、高知県の四万十町にJETプログラムのALTとして夫婦そろって来日しました。そこで3年間勤め、2年前ウィスコンシンプログラムのALTとして千葉県に来ました。現在東金に住んでいますが、8月から松戸国際高校に異動するので転居する予定です。時間を見つけて、鋸山、養老渓谷、いすみ鉄道など県内各地を旅行しています。また、両生類・爬虫類、読書、ヨガなどにも興味を持っています。



**Patrick Grimes** (県教育庁 Chiba-WI ALT Program Coordinator)

ウィスコンシン州東南部のセント・フランシス市出身です。NFLパッカーズの応援団が被るチーズヘッドの工場があります。5人家族の長男で、親からは日本で楽しんでくるように言われましたが、何れ帰るのを楽しみに待っています。8年前北京大学に3ヵ月間留学し、中国史を学びました。ウィスコンシン大学マディソン校を卒業後、5年前安房高校、長狭高校のALTとして赴任し、職場では飲みニュケーションを通じ仲良くすることができました。



### 離任ALTからのビデオメッセージ



Jacob Stroth

松戸国際高校で4年間を過ごしました。英語を教えたり、日本文化や日本語を勉強したりするのはとても楽しい経験でした。とても楽しかったので、日本に残ろうと思っています。親切な対応やサポートをしていただきありがとうございます。いつか恩返しきできたらと思っています。



Jacob Wiering

匝瑳高校での4年間、素晴らしい経験をさせていただきありがとうございます。日本での生活で色々苦労した時、皆さまのサポートがありとても感動しました。また、日本文化を教えていただきとてもよかったです。本当にこの素晴らしい経験を与えてくださって感謝しています。



Melissa Janssen

東葛飾中・高等学校での3年間、その前の南房総市立富山学園での5年間、合計8年間CWAにお世話になりました。皆さまの親切な対応や、色々な経験をさせていただきとても感謝しています。皆さまのお陰で人間として成長したと感じています。本当にありがとうございました。



Kaoley Vue

松戸国際高校での2年間色々なことを学ぶことができました。お陰でとても成長することができました。ここで得たことを故郷まで持ち帰って、いつか姉妹州プログラムについて訊かれたら、素晴らしい経験だったと伝えたいと思っています。本当にありがとうございました。

# 県立幕張総合高校生の ウィスコンシン 海外研修報告



千葉県立幕張総合高等学校長

北林 栄峰



コンコーディア大学にて

## はじめに

幕張総合高校では、進学重視型単位制高校として多様な選択科目が用意され、英語以外にも中国語やフランス語が学べるだけでなく、県の「グローバル人材プロジェクト」事業の指定を受けて、神田外語大学留学生との交流会をはじめ、国際ボランティアOBによる講演会や、諸外国の音楽公演会などの異文化理解教育にも力を入れています。中でも、平成26年に始まったウィスコンシン州への海外研修は、その柱の一つに位置づけられている行事となっています。コンコーディア大学での

研修は、コーディネーターやボランティアなどウィスコンシンの方々のご協力のおかげで、昨年度で4回目の実施を迎えることができました。昨年度は、普通科および看護科の1、2年生25名が、7月29日から10日間のプログラムに参加しました。

## 研修のあらまし

この研修では、午前に大学の講師による英語（ESL）の授業を受け、午後はウィスコンシン州南東部を観光して米国の文化や生活様式を学びました。英語の授業では、現地ボランティアの方々とゲームや会話をしたり、ミシガン湖畔を散歩したり、アメリカのおやつ作りをしながら英会話を学びました。午後は、牧場や美術館の見学、市街地の散策に加えて、メジャーリーグ観戦や星空観察など、ウィスコンシンの様々な面を満喫しました。中でも、英語の先生のご自宅に招かれて、湖水浴を楽しみ、自家用クルーザーに乗せてもらったことが、生徒たちの最もお気に入りのアクティビティだったと聞いています。

また、訪問中の日曜日には、教会のサービスに参列し、日本文化を紹介しました。生徒たちは、体験型プレゼンテーションを通じて、浴衣の着付け、日本の昔遊び、書道など、様々な形で日本を紹介しようと、出発前から懸命に準備をしてきました。結果は大好評であり、多くの人々に楽しんでもらえました。生徒たちは、英語でコミュニケーションを図れる喜びや嬉しさだけでなく、日本の伝統文化の良さや美しさを実感することができたようです。



英語の先生のご自宅裏の湖



浴衣の着付けを披露

## 研修で得たもの

海外研修は、実体験を通じて多くのことを学ぶことができる素晴らしい機会です。生徒たちがまとめた旅行記で、引率教諭の一人が次のように書いています。「アメリカ人が笑顔で挨拶してくれたことが嬉しかったなら、日本でも笑顔で挨拶してみましょう。アメリカ人が親切だと感じたなら、日本でも周りに親切にしてみましょう。皆さんは、アメリカで見た星空が綺麗だと言っていましたが、実際には、日本でもアメリカでも見える星そのものは同じです。言語や文化が違っても、コミュニケーションにおいて大切なことは同じなのかもしれません。」異文化の人たちを理解するには、その人たちとコミュニケーションを図ることが何よりも大切であり、まずはお互いを知ろうとする意識や態度を持つことが異文化理解の近道だと思います。参加した25名が今回の経験を通じて、国際人としての第一歩を踏み出し、将来は世界中の人々とお付き合いができる人間に成長することを期待しています。

また、研修中にお世話になった方々に感謝申し上げるとともに、今後も本校生徒たちとウィスコンシンの人たちとの交流がより深まっていくことを願っております。



## ALTの売り込み作戦大成功! “国際フェスタCHIBA2019”

5月19日（日）朝、国際フェスタCHIBA2019の会場である神田外語大学校内には若者たちの元気な声が響き、テントが次々と立ち上がっていきました。9時に集合したCWAメンバーも出店の準備に大わらわです。テーブルに耐火板を敷き、ソーセージをゆでる大鍋とガスコンロ、ホットプレートやケチャップとマスターードの瓶など、作業の流れと安全を確認しながら設置し、消防署の見回り対応も万全です。

CWAでは、千葉県の姉妹州であるウィスコンシン州との交流活動に関心を持っていただこうと、毎年国際フェスタに参加しています。メインとなるホットドッグの販売は、ジョンソンヴィル合同会社からご提供いただいたソーセージを使い、皆さんに堪能していただいている。ホットドッグの販売を開始して間もなく、強力な助っ人が現れ、CWAのハッピを着て「ウィスコンシン州のソーセージ、OISHII!」と大きな声でアピール。



清々しい笑顔のスタッフ一同



準備に余念のないスタッフ



精一杯の呼び込み



お客様ファースト



チーズヘッドに興味を示す子供たち

その助っ人は、もちろんウィスコンシン州出身のALTの皆さんで、その宣伝効果は抜群です。ホットドッグを一口かじった途端に「やっぱりソーセージが違うよね。とっても美味しい！」という声。スタッフのやる気は盛り上がります。昼近くになると順番を待つ列ができるほどの盛況ぶりで、対応にスタッフはてんてこ舞いでした。また、ウィスコンシン千葉委員会の理事でもある宮崎貴美子さんも応援に駆けつけていただきました。

今年の特徴は例年になく多くのALTが駆けつけてくれました。独特のパフォーマンスで売り上げ向上に大きく貢献してくれたほか、チーズヘッドをかぶって記念写真の輪の中に入ったり、子どもたちに積極的に声をかけたりと、これまでにない光景が随所に見られました。

好天に恵まれたことも幸いして終了時刻の3時前に余裕をもって完売となり、疲れも吹き飛びました。最後にスタッフ一同で記念写真を撮った後、後片付けをして一件落着です。一緒に働いてくださったALTと運営委員の皆さん、お疲れさまでした！

## 令和元年度理事会

5月21日（火）、ホテルポートプラザちば（千葉市中央区）において、令和元年度理事会を開催し、当協会の特別顧問である森田健作知事をはじめ、顧問（代理）1名、理事12名（うち代理4名）、監事2名が出席しました。



冒頭、茂木友三郎会長は「現在幅広い分野において活発な交流が展開されている。来年は千葉県がウィスコンシン州と姉妹提携してから30周年であり、一層交流を発展させるためにご意見をお願いします」と挨拶しました。続いて、森田知事からは、茂木会長が始められたウィスコンシン州との交流が30周年を迎えることはすごいことで、『継続は力だ』と感じた。これから始まるデュッセルドルフ市との姉妹交流も『こうじゃなきゃいけない』と強く思った旨の挨拶がありました。

その後、平成30年度の事業報告及び収入・支出決算、令和元年度の事業計画（案）及び収入・支出予算（案）等5つの議題が審議され、いずれも総会に付議されることになりました。次いでウィスコンシン州との交流状況について事務局からの報告があり、出席者による活発な意見交換で幕を閉じました。

なお、理事会での意見交換の内容（抜粋）は、下欄をご覧ください。

## 令和元年度定期総会

6月8日（土）、ホテルプラザ菜の花（千葉市中央区）において、令和元年度定期総会を開催し、正会員27名（この他委任状提出会員53名）が出席しました。



冒頭、大石副会長から、令和二年は千葉県がウィスコンシン州と姉妹提携してから30周年という節目の年を迎える。こうした中、県立高校で英語を教えるウィスコンシン州出身のALT（語学指導助手）の活動を評価する旨の挨拶がありました。

その後、会員の林和也さんを議長として、平成30年度の事業報告及び収入・支出決算、令和元年度の事業計画（案）及び収入・支出予算（案）、理事・監事の選任（案）について審議が行われ、すべて原案のとおり承認されました。

### 理事会での意見交換の内容(抜粋)

- ウィスコンシン州から来たALTが、一所懸命若い学生に英語を教えていることは、実質的な交流として高く評価している。日本との友好関係を築くのに尽力してくれるのでないか。
- 国同士のトップの信頼関係も大事だが、地域に根差した息の長い交流が、国と国との信頼関係を構築していくと感じる。
- オリンピック・パラリンピックの終了後、スポーツツーリズムを展開していきたい。千葉県の平坦な土地を利用した「サイクリングツーリズム」が有効ではないか。ウィスコンシン州にある自転車製造会社「トレック社」と、各地域に自転車を寄贈している千葉銀行をつなげられないか、新しい分野での交流のきっかけになれば面白い。
- オリンピックの流れで、ウィスコンシン州との交流をさらに発展させていきたい。ウィスコンシン州からの友好使節団は、各市町村の協力で県内各地を訪れている。市町村での受入れが広がると良い。今年度の交流の中で酪農グループも参加すること、千葉県の農業生産額増大のために、畜産・酪農にも力を入れて、更に交流が深まればよい。
- ウィスコンシン州内にはいろいろなタイプの大学がある。医療系大学として、リハビリテーションや看護系、管理栄養士といった保健・医療の専門職を育成している単科大学と今後人材交流を進めていきたい。
- 学生は大学院生も含め14,000人いる。次年度から4年間の間に一回は全員留学させることにした。3年前に「全員留学」をうたって新たな学部を作ったところ、入学てくる学生が違った。授業をしても手を挙げて質問してくれる、外国の学生を見ているみたいだ。一度留学させると、目の色が変わってくる。留学と言っても、海外にいながら大学の授業がとれるシステムを作る。ウィスコンシン大学ミルウォーキー校とも交流を進めていきたい。
- 当校にもウィスコンシン州からのALTが一名いて、昨日は国際理解教育ということでアメリカの文化について一年生全員に講演してもらった。活発な質疑応答もあり、非常に有意義だった。ウィスコンシンプログラムは、非常に質の高いALTを送っている。
- 会員交流会及び友好使節団のフェアウェルパーティーに参加し、私自身が異文化に触れる体験ができた。ALTが千葉県の英語教育に貢献してくれていると肌で感じた。このような国際交流が若い人にもっと広がり、いろんな経験をすれば非常に良い。
- 1998年に設立されて以来、長く県内から様々な海外展開、海外から千葉への外資系企業誘致をしている。トレック社の話がでたが、先日自分の自転車が壊れて近所の直営店で同社の自転車に替えており、ウィスコンシン州との交流に貢献している。

# 令和元年度 事業計画

## [事業方針]

前年度までの事業実績をもとに、さらに多くの方にウィスコンシン州の魅力を知っていただけるよう、各分野の事業内容のより一層の充実を図ってまいります。

## [事業内容]

### 1 会議の開催

- ・理事会、総会 各1回
- ・運営委員会 原則として毎月第二土曜日に開催、委員会の前に各部会を開催

### 2 ウィスコンシン州との交流事業の企画・運営

- 千葉県友好使節団の派遣
- ・派遣時期：令和元年10月16日(水)～24日(木)予定
- ・派遣団員数：20名程度

### 3 会員等交流事業の開催

- ・会員交流会&Farewell Party(6月8日(土))
- ・新任ALT歓迎会(9月16日(月・祝))
- ・食文化交流会(11月17日(日))

### 4 CWAの活動及びウィスコンシン州に関する広報事業

- ・CWA NEWSの発行(4回)
- ・CWAホームページによる各種情報提供
- ・各種イベントへの参加
- ・ウィスコンシン州及び同州との交流に関する情報の収集

## 令和元年度 収入・支出予算

### 1 収入の部

単位:千円

科 目	元年度(A)	30年度(B)	A-B	備 考
会 費	599	589	10	
補 助 金	1,150	1,150	0	
県運営費補助	150	150	0	
県事業費補助	1,000	1,000	0	
交流事業等 参 加 費	2,135	255	1,880	友好使節団派遣ほか
繰 越 金	1,567	2,151	△584	
計	5,451	4,145	1,306	

### 2 支出の部

単位:千円

科 目	元年度(A)	30年度(B)	A-B	備 考
運 営 費	285	185	100	印刷費、消耗品費等
事 業 費	4,682	2,805	1,877	
会 議 費	150	150	0	理事会、総会
友好使節団派遣・ 受入事業	3,760	1,900	1,860	友好使節団派遣費用 派遣報告書
会員等交流事業	255	243	12	交流会経費
広 報 事 業	517	512	5	CWA NEWSの発行
予 備 費	484	1,155	△671	
計	5,451	4,145	1,306	

## 令和元年度 千葉ウィスコンシン協会の役員・運営ボランティア(令和元年7月1日現在)

役職名	氏名	所 属 等	役職名	氏名	所 属 等
特別顧問	森田 健作	千葉県知事	理 事	徳久 剛史	国立大学法人千葉大学学長
顧 問	亀田 郁夫	鴨川市長	監 事	宮崎 義政	千葉県太鼓連盟会長
	太田 洋	いすみ市長		安田 審一	千葉県酪農業協同組合連合会代表理事長
会 長	茂木 友三郎	キッコーマン株式会社取締役名誉会長 取締役会議長 (ウィスコンシン州名誉大使)		深山 和利	千葉県立成田国際高等学校校長
副 会 長	大石 道夫	公益財団法人かずさDNA研究所理事長		板倉 正典	公益財団法人千葉県産業振興センター理事長
	大澤 克之助	株式会社千葉日報社代表取締役社長		佐藤 拓	独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 千葉貿易情報センター所長
	佐久間 英利	一般社団法人千葉県商工会議所連合会会長			
	永井 俊秀	公益財団法人千葉県文化振興財団理事長			
常務理事	佐藤 忠信	公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー代表理事			
理 事	篠塚 泉	千葉テレビ放送株式会社代表取締役社長			
	井手本 康	学校法人東京理科大学理工学部長			
	石川 徹	千葉県総合企画部部長			
	小野澤 康夫	一般社団法人千葉県経済協議会会長			
	小島 信夫	一般社団法人千葉県経営者協会会長			
	柳原 俊郎	国立大学法人東京大学 柏キャンパス・リエゾン室長 (物性研究所教授)			
	佐久間 英利	千葉県経済同友会代表幹事			
	田邊 政裕	千葉県立保健医療大学学長			

### [運営委員会委員]

#### 派遣・受入事業部会

三村 昇(アドバイザー)

#### 会員等交流事業部会

阿部 照夫

森山 茂男(委員長)

石井 崇子

○青木 靖子(事務局長)

○大浦 京子

小川 鉄次

三橋さなえ

安藤 忠男

山崎 静江

浅沼 明夫

#### 広報部会

大原美保子(副委員長)

小野 文弘

○宮崎 忠夫

小川 智子

Patrick Grimes

○印は部会長

#### [イベントスタッフ]

榎田 直美 角田 トミ子 慶児 聰子 薄井 まどか

加藤 由恵

### [編集後記]

今年の理事会では、今後の交流について具体的かつ活発な意見交換がなされ大いに盛り上がりました。来年は姉妹交流30周年を迎えますが、どのような事業を展開するか、今後運営スタッフの中で協議していきたいと思っています。今年は千葉県友好使節団のウィスコンシン州への派遣の年です。CWAは交流の輪がさらに広がるよう努力してまいります。

発行所：千葉ウィスコンシン協会

発行人：森山茂男 編集：広報部会

<http://chiba-wisconsin.net/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階

(公財)ちば国際コンベンションビューロー内

\*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2394(千葉県国際課内)